

令和4年度版 新体力テスト分析ツール



北海道教育庁学校教育局
健康・体育課



HOKKAIDO
BOARD OF
EDUCATION

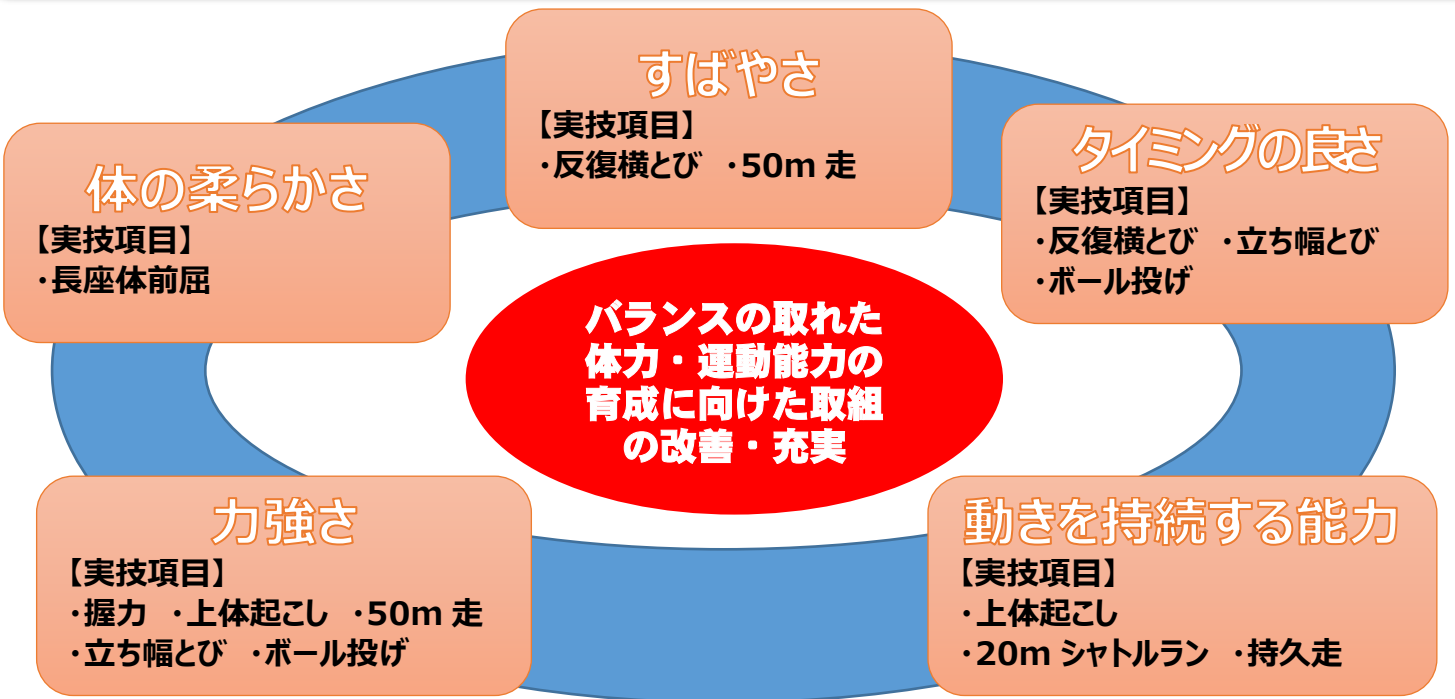
はじめに

道教委では、令和4年2月に「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査『北海道版結果報告書』」を公表し、「各種の客観的なデータ等に基づいた検証改善サイクルの確立」、「学校全体や学年の目標を明確にした組織的な取組の充実」など、本道の児童生徒の体力向上に向けた各学校における取組の方向性について示したところです。

この度、上記の報告書の内容を踏まえ、各学校における新体力テスト結果などの客観的なデータに基づいた検証改善サイクルの確立に向けた「令和4年度版 新体力テスト分析ツール」を作成いたしました。

各学校においては、本分析ツールを効果的に活用したり、別添の実践事例を参考にしたりするなど、自校の児童生徒の体力・運動能力の状況を的確に把握するとともに、学校や地域の実態を踏まえ、地域の関係機関・団体と連携・協働しながら、全教職員の参画の下、学校の教育活動全体を通じた体力向上に向けた取組を充実させていただきますよう、お願いいたします。

新体力テストの実技項目と体力の要素との関係



新体力テストの分析結果を踏まえた体力向上に向けた効果的な取組へのポイント



体育科・保健体育科における学習指導要領の内容と、各学校の分析結果から課題が見られた体力の要素との関連を図り、（例：右図参照）各運動領域及び体育分野の学習における導入場面などにおいて、意図的・継続的に多様な運動に取り組む機会を設定すると効果的です！



休み時間や放課後などの業間を活用して、課題が見られた体力の要素に関連する運動に主体的に取り組むことができる環境を整えることにより、運動量が増加し、体力向上につながります！

※その他、別添の実践事例も各学校の取組の参考にしてください。

学年	運動領域	すばやさ	動きを持続する能力 (ねばり強さ)	タイミングのよさ	力強さ	体の柔らかさ
小学校 5・6年	体つくり運動	●	●	●	●	●
	器械運動			●	●	●
	陸上運動	●		●	●	●
	水泳	●	●	●	●	
	ボール運動	●	●	●	●	
表現運動		●	●		●	
中学校 1・2年	体つくり運動	●	●	●	●	●
	器械運動			●	●	●
	陸上運動	●	●	●	●	●
	水泳	●	●	●	●	
	球技	●	●	●	●	
	武道	●	●	●	●	●
ダンス		●	●		●	

※ 本分析ツール活用の留意点：「令和2年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」が中止となり、「令和2年度 体力・運動能力調査」（スポーツ庁）については標本数が少ないため参考値となったことから、本分析ツールにおいては、コロナ禍以前の「令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」、「令和元年度 体力・運動能力調査」（スポーツ庁）及び「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」、「令和3年度 体力・運動能力調査（速報値）」（スポーツ庁）を比較対象として活用しています。

検証改善サイクルを生かし、体力・運動能力の向上に成果をあげている 道内の小・中学校の実践事例

事例1 ○ ポイント 新体力テスト結果の実態を踏まえた1校1実践の設定

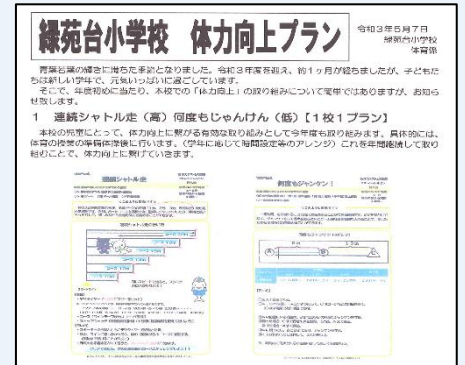
■ 石狩市立緑苑台小学校

1 取組の概要

本校では、低学年から新体力テストを実施して客観的に体力・運動能力の状況を把握するとともに、その分析結果や児童の発達段階を踏まえた全校統一の運動(一校一実践)を設定し、体育授業の導入時等で取り組むなど、継続的な取組を進めている。

2 取組を進める上での工夫

- ・体力・運動能力の自己変容を実感させるため、独自の「体力カード」を作成・活用し、6年間の成果を蓄積することを通して、体力向上への意識を高めている。
- ・「体力カード」や「体力向上プラン」を活用して、各家庭と体力・運動能力の現状や課題、学校の取組について共有するとともに、「体力カード」には保護者確認欄を設け、家庭での確認後、回収するなどの工夫を通して、家庭での運動を促進している。
- ・「パワーアップスタジアム」と称して、年2回の体力向上月間を設定し、体育授業等の成果における体力・運動能力の自己変容を実感することができる機会を設定し、自己目標の達成に向けた取組を推進している。



【保護者と共有している体力向上プランの一部】

事例2 ○ ポイント 生徒会活動と連携させた体力向上の取組

■ 幕別町立札内中学校

1 取組の概要

本校では、生徒が主体的に体力向上に向けた取組を進めることができるよう、体力向上担当教員と保体委員会が連携し、自校の生徒の体力・運動能力に関する現状や課題を共有しながら取組を進めている。

2 取組を進める上での工夫

- ・新体力テストの結果や体力向上に係る学校課題について生徒と共有・協議する時間を設定し、休み時間等を利用して手軽にできる運動を生徒と一緒に企画し、全校に提案するなど、全校生徒が主体的に多様な運動に取り組めるよう工夫しながら取組を進めている。
- ・独自の「記録カード」を配布して自己の記録を蓄積させたり、生徒が日頃の運動の成果を確認するための新体力テスト常設コーナーを設置したりするなど、日常的に体力・運動能力の自己変容を実感し、継続的に運動に取り組むための環境整備を工夫し、生徒の体力向上に向けた意欲の向上を図っている。



【保体委員会が企画・提案した運動を行う様子】



【新体力テスト項目測定常設コーナーの一部】

事例3 ○ ポイント 中学校区内の小・中学校が連携した取組

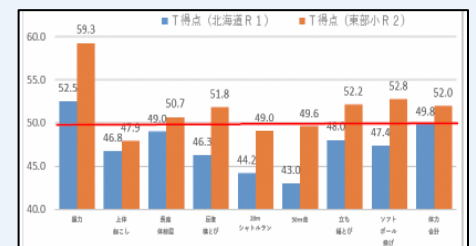
■ 北広島市立東部中学校区

1 取組の概要

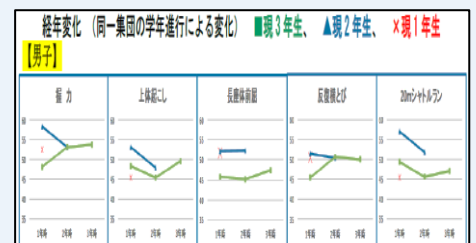
本中学校区では、小中一貫教育小中合同部会を組織し、各種調査などの客観的なデータに基づき、校区内の児童生徒の状況を継続的に検証するなど、各小・中学校が連携し、9年間を通して児童生徒を育成していく小中一貫教育を推進している。

2 取組を進める上での工夫

- ・小中一貫教育学力・体力向上部会を中心として、定期的に児童生徒の体力・運動能力等の状況を共有する機会を設定している。
- ・各学校の新体力テスト結果を交流するなど、小・中連携して校区内の児童生徒の体力・運動能力の現状や課題を分析するとともに、各学校が課題解決に向けて設定した運動や具体的な取組を共有している。
- ・保護者や地域と連携した取組を進めることができるよう、「学校教育説明会」や「地域懇談会」を設定し、現状や課題、今後の取組の方向性を共有している。



【東部小学校の体力向上プランにおける課題把握の一部】



【東部中学校の体力向上プランにおける課題把握の一部】